

平成28年2月16日

各位

公益財団法人 大山健康財団  
理事長 竹内 勤

## 平成27年度「第42回大山健康財団賞」及び「大山激励賞」受賞者 並びに「第42回学術研究助成金」受贈者決定のお知らせ

大山健康財団は、このほど平成27年度の「第42回大山健康財団賞」及び「大山激励賞」受賞者各1名、並びに「第42回学術研究助成金」受贈者8名を下記の通り決定しました。

「大山健康財団賞」は発展途上国で長年医療協力を尽くし、特に感染症対策に尽力した医療関係者に賞状、記念メダル、副賞を贈呈するもので、「大山激励賞」は、発展途上国で医療協力を尽くし、特に感染症対策に尽力した医療関係者で、今後とも発展途上国においてなお一層の活躍が期待される方に賞状および副賞を贈呈するものであります。

また、「学術研究助成金」は大学、研究所、病院などにおいて、感染症に関する基礎的あるいは臨床的研究及び疫学的研究、特に発展途上国における疫学的課題（一般細菌感染症、ハンセン病、リケッチア症、寄生虫病）に従事している若手研究者の中から選考された方に、助成金を贈呈するものであります。

なお、贈呈式は平成28年3月17日（木）午前11時30分から霞が関ビル35階霞ヶ関東海倶楽部（東京都千代田区霞が関3-2-5）で併せて執り行います。

記

## 平成27年度「第42回大山健康財団賞」

（敬称略）

【受賞者】 いなだ よりたろう  
稲田 頼太郎 特定非営利活動法人 イルファー 理事長  
Inada-Lange Foundation for AIDS Research (ILFAR)  
獣医師 HIV(AIDS)専門家 農学博士（満69歳）

### 【業績内容】

稲田頼太郎氏は、研究者として就職されたアメリカ・コロンビア大学附属病院で1980年に当時まだ原因も治療法も分からなかった病気（後にAIDSと呼ばれる）に出会い、次々と命を落としていく患者を目の前にしてこの病気と闘うことを決意された。

1980年代後半から1990年代前半にかけてニューヨーク在住日本人感染者、患者のケアにあたられ、1993年に日本でエイズ患者やHIV感染者の診療にあたる医師や看護師を養成するためにマイケル・ラング医師（感染症学研究部長）とともに「イナダーラングエイズ研究財団：ILFAR」を設立され、以後、100名以上に及ぶエイズ関連医療従事者の研修を行われた。

2000年7月にはケニア共和国ナイロビ市にあるスラム地区（プムワニ村）においてエイズ医療体制構築のための無料診療を、その支持者と共に始められ、感染者、患者、地域住民の教育を中心に感染予防のプログラムを過去13回にわたり行われている。

また、自費で1年のうち2ヵ月間の無料診療支援を始められ、10年間続けられた後、定年目前でアメリカの病院を退職され、ケニアに完全移住して2010年に診療所をオープン、無料で診療支援を行っておられる。2006年、ケニアにおいても無料の抗エイズ薬の入手が可能になり、患者、感染者への治療情報の提供、服薬指導などにも尽力されている。

## 平成27年度「大山激励賞」

(敬称略)

【受賞者】 こうの ともこ  
**河野 朋子** 特定非営利活動法人 ジャパンハート  
ミャンマー医療事業統括責任者  
看護師、助産師、保健師 (満40歳)

### 【業績内容】

2004年に設立された「国際医療奉仕団ジャパンハート」(当時)は、ミャンマーの「ワツチェ慈善病院」で医療活動を行ってきたが、河野朋子氏は国際医療協力に強く関心を持たれ、2005年に日本で勤務されていた病院を退職され、無償のボランティアスタッフとしてこの活動に参加された。

2008年5月から8月までミャンマー南部を襲ったサイクロン「ナルギス」の緊急救援活動に参加されたのをはじめ、2009年4月から現在に至るまでミャンマーでの医療活動の傍ら、サイクロン孤児支援事業(2009年、2010年)、視覚障害者自立支援事業(2009年)の立ち上げ、子ども養育施設「Dream Train」開設準備(2010年)、現地医療者育成事業(2010年～現在)、東日本大震災支援事業(2013年)、ミャンマー子ども心臓病サポート事業(2014年～)、ミャンマー大洪水緊急救援活動(2015年)などに従事されてきた。

決して十分とは言えない人員と設備の中、様々な苦勞をいとわず10年もの間継続してミャンマーで患者の命と真摯に向き合われる河野氏の姿は、多くの看護師やスタッフ、患者とその家族に勇気を与えている。

さらに現地の医療に長年携わってきた経験を生かし、これまでに30人以上のミャンマー人看護師を育成する中で、日本人が持つ優れたホスピタリティを伝え続けられている。また医療に限らず社会福祉の事業においても多くのこどものために尽力され、ミャンマー人と結婚し一児の母となった今、現地の子どもたちへ注がれる目はますます温かく、これからもなお一層のアジアへの医療貢献が期待される。

# 平成 27 年度「第 42 回学術研究助成金」受贈者

(敬称略)

氏 名	所属・役職	研 究 課 題	金額 (円)
おかだ 岡田 哲也	大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 生体高分子機能学研究室 非常勤研究員	アフリカ睡眠病の病原原虫における分化メカニズム解明に向けたライブイメージング法の開発と応用	100万
ささき 佐々木 啓	順天堂大学スポーツ健康科学部健康学科 助教	細胞性粘菌由来の生物活性物質 DIF をリード化合物とした新規抗菌剤の開発	100万
すぎもと 杉本 智恵	北海道大学大学院 医学研究科衛生学・細胞予防医学分野 助教	自然免疫型 T 細胞による細菌感染制御機構の解析	100万
みいち 見市 (三田村) 文香	佐賀大学医学部分子生命科学講座免疫学分野 助教	赤痢アメーバ“シスト形成”を標的とする新規薬剤の探索	100万
みづたに 水谷 龍明	京都大学ウイルス研究所 細胞制御研究分野 特定助教	結核菌許容性 M2 マクロファージの生存維持因子の同定から分子治療開発へ	100万
みなみ 南 修司郎	東京医療センター臨床研究センター聴覚平衡覚研究部 部員	中耳常在菌叢データベースの構築と、難治性慢性中耳炎におけるメタゲノム解析による新規治療開発	100万
やまもと 山本 雅裕	大阪大学微生物病研究所 教授	トキソプラズマ原虫の濃縮顆粒から分泌されるエフェクター分子による宿主免疫ハイジャック機構の解明	100万
よつ 四津 里英	国立駿河療養所皮膚科 医師	コートジボワール共和国 Adzopé 地域における学童および伝統医療受診患者を対象としたハンセン病とブルーリ潰瘍診断に関する疫学的調査	100万
			800万

問合せ先：公益財団法人 大山健康財団 事務局  
東京都江戸川区平井 5-29-4-202  
電話 03-3614-7762

以上